

退任のご挨拶

オミクロン株の猛威にさらされて3年目に入りましたコロナ禍との闘いですが、皆様方にはよろしく持ちこたえられていらっしゃると思います。

コロナ禍の中、中村睦男前々会長の訃報に呆然としました。協会の活動停止を選択せざるを得ませんでした。フランス大使館文化部との札幌アリアンス・フランセーズ支援をめぐっての折衝や、同学院のまったなしの経営再建の支援など、会長の存在なくしては成しえない課題解決のために2020年会長職をお引き受けしました。ニコラ学院長と吉田事務局長の献身的な努力のおかげで、学院の経営自立は完全に軌道に乗るまでになりました。お二人に深く感謝申し上げます。またこの二年間、変わらぬ愛情を持って学院そして協会を支えてくださった皆様にも同様の感謝をささげます。さらには、コロナ後を見据えて人事刷新を目指し、これも僥倖に恵まれ成功裡に本日を迎えました。地元札幌出身の女性初の日本銀行札幌支店長を務められた小高咲氏に会長を、北海道新聞記者を長年務められ、パリ特派員等で5年の滞仏経験をお持ちで、昨年度新文化事業社代表取締役社長を退かれた加藤利器氏に理事長をお引き受けいただけることになりました。

思うに熱い平和への情熱に突き動かされるように札幌日仏協会／アリアンス・フランセーズの立ち上げに奔走された初代理事長深瀬忠一先生、フランス文化の華麗さを体現されたかのような大平具彦理事長のあとをついで理事長を務め、最後は臨時措置とはいえ会長職まで拝命いたしました。これもひとえに皆様の温かいご理解とご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

言葉には「身体性」が深く関わります。異文化の交流にはさらに「他者」の身体と言葉が関わってきます。この深い断絶を乗り越えるには、「今そこに居る」フランス人との交流が欠かせません。世界のアリアンス・フランセーズの一員であることを選んだことは正しい道であったといまさらながら感慨をもって振り返る次第です。これからの札幌日仏協会／アリアンス・フランセーズの一層の発展を祈って会長退任の言葉とさせていただきます。なお今後も顧問としてとどまることになりました。微力ながら本会の発展に寄与できれば幸いと存じます。皆さんコロナ後ワインで祝杯を挙げる日を夢みながら、オ・ルヴォワール！

江口 修